



家庭児童相談室の窓から

この数年の相談内容に目を通していき、気づいたことがあります。以前は、「どうしたらよいでしょうか」「教えてください」のように、白紙状態からのご相談が多かったのですが、最近では、ご自分で情報を収集し、解決のための行動をとりつつある方が、その途中で意見や助言を求めてくるようなご相談が増えてきたということです。

この背景には、インターネット、特にスマートホンの普及があるようです。知りたいと思うことを誰もが簡単に調べられる時代になりました。そのため、相談室が果たしてきた情報提供という役割の比重はやや低下してきているようにも見えます。

しかし、インターネット情報のなかには誤りや不確かなものが含まれており、必ずしも正しいとは限りません。また情報に振り回さ

れることもあります。ですから、相談室における情報提供という役割はやはり大切ではないかと思えます。

意見や助言を求める相談者が増えてきたことの背景には、セカンドオピニオンという言葉が広く知られるようになったことが関係しているのかもしれませんが。とはいえ、相談室の役割は意見を言うことではありません。情報提供をしたり、相談者と一緒に問題点を整理したりしながら、相談者が方向性を決められるようなお手伝いをしています。

問題解決に向けて主体的に取り組んでいる相談者はしっかりした方という印象を受けることが多いのですが、実際にはストレスを内に溜め込んでいることも少なくありません。どのようなご相談であれ、相談者の気持ちが楽になるような支援を心がけていきたいと思えます。

(家庭児童相談室 相談員 砂川真澄)

家庭児童相談室のご案内

あなたの支えに…

家庭のこと、子どものこと、自分のこと

熊本学園大学付属社会福祉研究所 家庭児童相談室

家庭や家族に関する問題や、子どもさんのことについて
ご相談をお受けします。ご心配なこと、お困りなことが
ありましたら、お気軽にご利用ください。

受付 水曜日10:00～13:00 / 金曜日10:00～13:00
(12月30日～1月30日休診日)

熊本学院 飯塚キャンパスです。費用は無料です。

相談室電話 ☎ 096-364-8732

発行所 熊本学園大学付属社会福祉研究所

〒862-8680 熊本市中央区大江2-5-1 ☎ 096-364-5161 (代)

発行人 所長 守弘仁志 編集人 社会福祉研究所委員会

印刷所 コロニー印刷 ☎ 096-353-1291



■古紙再生率100%の再生紙を利用しています。

■揮発性有機化合物発生の抑止と紙のリサイクル性に優れた「大豆インキ」を使用しています。